

平成 28 年度警察政策研究センターの活動概要一覧

平成28(2016)年

4月～ 所長及び教授が東京大学公共政策大学院、京都大学公共政策大学院、一橋大学国際・公共政策大学院、中央大学法科大学院、同大学総合政策学部、首都大学東京都市教養学部、法政大学法学部等で講義を実施したほか、本庁各部局職員の講師派遣を斡旋するなど警察政策に関する研究の発展及び普及を図った。

慶應義塾大学大学院法学研究科（市民生活の自由と安全研究会）と共同研究を実施した。

5月 16日 （公財）公共政策調査会と共催でセミナー「反社会的勢力（総会屋・暴力団等）問題と企業の安全を考える」（講師：樹下尚（警察庁組織犯罪対策部長）、荒井隆男（日本弁護士連合会民事介入暴力対策委員会幹事））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

5月 21～22日 所長が日本刑法学会第94回大会（会場：名古屋大学東山キャンパス）に出席。

6月 11～12日 日本公共政策学会2016年度研究大会（会場：日本大学）に所長と教授が参加。

6月 14～16日 教授らがスウェーデン・ストックホルムで開催されたストックホルム犯罪学シンポジウムに出席し、日本における薬物乱用の現状と対策について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

6月 17～19日 教授が中国・北京で開催されたアジア犯罪学会に出席し、防犯ボランティア団体の活動と警察による支援について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

7月～ 教授が前年度に引き続き、国家公務員採用総合職試験（行政、政治・国際）の専門委員として試験問題の作成・検討に参加。

7月 6日 警察政策学会シンポジウム「人口急減時代における安全安心の確保と警察の課題」において、河合潔・警察政策研究センター所長が「人口急減社会への警察の対応」と題してプレゼンを行うとともに同シンポジウムのパネリストを務めた。

6～9日 教授が米国・ヒューストンで開催されたアジア警察学会に出席し、我が国における薬物乱用の現状と対策について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

8月 8～13日 教授が米国・ワシントンD.C.で開催された国際警察幹部シンポジウムに出席し、日本における薬物対策について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

9月 21～24日 教授がドイツ・ミュンスターで開催されたヨーロッパ犯罪学会に出席し、日本における薬

物対策について発表し、各国研究者、実務家等と意見交換を行った。

- 10月 5日 警察政策フォーラム「暴力団員の社会復帰対策の今後の展望と課題～離脱・就労促進による暴力団の弱体化・壊滅を考える～」(基調講演・講演：守山正(拓殖大学政経学部教授)、持丸宗徳(福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課暴力団排除対策官)、田島佳代子(法務省保護局更生保護振興課社会復帰支援室長))を開催(会場：グランドアーク半蔵門)。
- 10月 9日 所長が日本公法学会第81回総会(会場：慶應義塾大学三田キャンパス)に出席。
- 11月 16～19日 所長及び教授が米国・ニューオーリンズで開催された米国犯罪学会に出席し、日本における薬物対策について発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。
- 11月 30日 社会安全フォーラム「女性に対する暴力対策の現状と今後を考える」(基調講演：島田貴仁(科学警察研究所犯罪行動科学部犯罪予防研究室長)、ステファン・ディビッド・ハート(カナダ・サイモンフレーザー大学教授)、ミケーレ・パルマ(イタリア首相府機会均等局参事官))を開催(会場：グランドアーク半蔵門)。

平成29(2017)年

- 1月 23日 懸賞論文「現代社会の脅威にいかに向かうか」授賞式を実施(会場：グランドアーク半蔵門)。
- 2月 14日 警察政策学会及び京都産業大学社会安全・警察学研究所と共催でフォーラム「国際テロ対策の推進～フランスにおけるテロ対策に学ぶ～」(講師：フランソワ・デュ(フランストゥールーズ社会科学第一大学教授))を開催(会場：グランドアーク半蔵門)。
- 2月 23日 警察政策フォーラム「国際化の進展への対応～定住外国人の増加をめぐる問題を中心に～」(基調講演：庄司克宏(慶應義塾大学大学院法務研究科教授)、フィリップ・デ・ブリュッガー(ブリュッセル自由大学教授)、佐々木聖子(法務省大臣官房審議官)、ブイ・チ・トルン(愛知淑徳大学大学院教授))を開催(会場：グランドアーク半蔵門)。